

北九州市立特別養護老人ホームかざし園指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	社会福祉法人 暁会	社会福祉法人 北九州市福祉事業団
1 指定管理者としての適性について	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針 弊会は、「高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉に取り組み、地域の医療・福祉に貢献する」との基本理念のもと、『北九州市しあわせ長寿プラン』のビジョンが示す【健康長寿】【地域共生社会】【安全・安心・自己決定】の3つの目標を念頭に、○安全・安心な暮らしの創造と提供 ○地域とともに歩む施設運営を基本方針とし、人権擁護、医療・介護の連携の深化、介護テクノロジーの活用によって利用者の望む暮らしを実現するとともに、「地域包括ケアシステム」の一端を担う施設として地域住民と共に支え合い歩んでまいります。 (2) 安定的な人的基盤や財政基盤 山口県、東京都において高齢者施設、障害者児施設、健康増進施設、地域包括支援センターなど運営。468名の介護・福祉・医療の専門職を有し、予算規模40.4億円の法人です。 令和7年4月には、介護付きケアハウス、診療所など譲受するなど、地域の福祉ニーズを取り入れた事業運営により財政基盤を強化しております。 (3) 実績や経験など 特別養護老人ホーム、短期入所生活介護事業所、養護老人ホームや軽費老人ホームなど老人福祉施設や認知症対応型共同生活介護事業所、地域包括支援センターや在宅サービスなどの運営実績があります。また、社会福祉士、介護福祉士、認知症介護実践者（実践リーダー）研修修了者など多く在籍しており、豊富な知識と経験を活か	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針 【理念・基本方針】 当法人は昭和40年の設立以来、北九州市内最大規模の社会福祉法人として、北九州市と一体となり、長年にわたり高齢者・障害者・児童など幅広い分野で市民福祉の向上に寄与してきた。今後も、かざし園に期待される責務を自覚し、北九州市の施策に沿って、高齢者が自分らしく、いきいきと活動できる「幸福な長寿社会」の実現に向けて取り組みます。 【施設運営の基本方針】 1 利用者本位のサービス提供 2 地域連携 3 生活環境の整備 4 公平・公正な施設運営 5 職員の資質と専門性の向上 (2) 安定的な人的基盤や財政基盤 【人的基盤】幅広く市民福祉の向上に寄与しており、多様かつ経験豊富な人材を有しています。感染症防止対策では総合療育センターの看護師による支援を受けています。 ◆法人 常勤職員1,087人、9種66施設の運営による多種多様な福祉・医療専門職が在籍し、施設間連携によりかざし園を支える仕組みを構築しています。 ◆かざし園 経験豊富な専門職を配置し、知識・技術を活かしたサービスを提供します。 【財政基盤】令和6年度決算において、流動比率は271%、純資産比率は83%、純資産額は82.8億円と財政基盤の安定性は確保されています。 (3) 実績や経験など 【かざし園の運営】昭和58年の園開設当初から、利用者・家族との信頼関係を構築し、地域との交流等の実績を積み上げ、当法人が継続して受託運営を行ってきました。また、法人としては介護保険訪問調査業務、統括・包括支援センターへの職員出向等、高齢者福祉に対して多面的かつ継続的に取り組んでおり、豊富な実績を有しています。

審査項目		社会福祉法人 暁会	社会福祉法人 北九州市福祉事業団
		し、地域の健康教室や看護学校などに講師として派遣するなど、地域の医療・福祉の向上に寄与しております。	
2 管理運営計画の適格性	【有効性】に関する取組み	（１）施設の設置目的の達成に向けた取り組み 現法人が取り組まれた様々な事業を踏襲しつつ、弊会の経験を運営に活かします。北九州市立門司病院との会議体の設置により職員間の良好な関係を築き、質の高い医療・介護の提供に取り組むことで、入所者の重度化防止、健康維持増進に努めます。入所者の心理的ニーズも重視し、心理的な安心感や自尊心を満たしその人らしさを大切にするケア姿勢を実践します。 また、介護テクノロジーの導入活用によって入所者の生活の質の向上、職員の身体的・精神的負担の軽減による人材の定着促進につなげていきます。なお、ホームページや広報誌にて情報発信するとともに、地域包括支援センターや入院施設へ出向くなどして施設を紹介していきます。	（１）施設の設置目的の達成に向けた取り組み 【事業計画概要】 ご利用者一人ひとりの意思を尊重した家庭的で温かみのあるサービスを提供し、その人の有する能力に応じた、その人らしい生活を営むことができるよう支援します。また、ご利用者のみならず、地域住民にとっても重要な「社会資源」であることを自覚し、施設の持つ専門性を地域福祉に活かすことで、地域住民と支え合う関係づくりを推進します。 ◆私たちが目指す４つの取り組み ◎良質な食の提供 最後まで「口から食べる幸せ」を叶える豊かな食事支援 ◎個別ケア ご利用者一人ひとりの充実した毎日を支える職員による利用者担当制 ◎認知症ケア 認知症の方が、その人らしさを表出できるきめ細やかな支援 ◎社会貢献・地域貢献 地域の実情を把握し法人の専門性を最大限に発揮した地域高齢者支援 【利用者増加、営業・広報活動の取り組み】 居宅介護支援事業所や病院等との連携をさらに強め、併せて立地や交通の利便性等を積極的に伝えることで、在宅や入院中の高齢者の入所希望者増につなげます。 ◎広報活動強化 ホームページによる情報発信に加え、地域住民向けの広報紙「かざしかわら版」の配布、「地域支援班」による地域高齢者への支援活動等、広報活動を強化します。 ◎空きベッド短縮 退園後７日以内の受け入れを行う他、入院等による空きベッドを利用し、ショートステイの利用者増を図ります。 【認知症高齢者ケアの具体的な取り組み】 ◎認知症ケアの専門性向上 ◎８種類のメニューによる心身の活性化を図る計画的かつ細やかな個別ケア
		（２）利用者の満足度 入所者や家族を対象とした満足度アンケート	（２）利用者の満足度 【利用者の満足が得られるための取り組み】

審査項目		社会福祉法人 暁会	社会福祉法人 北九州市福祉事業団
2 管理運営計画の適格性	【有効性】に関する取組み	や嗜好調査、苦情やご意見箱の投書のほか、介護サービス相談員派遣事業の活用により得たご意見をもとに改善と検証をすることで、質の高いサービス提供を実現します。情報の公表制度や第三者評価の受審にて得た評価を運営に活かすとともに、運営状況を広く周知します。入所者の支援においては意向や希望を目標に取り入れ、入所者とともに目標達成に向け取り組む姿勢を大切にしていきます。	ご利用者に対し、アンケートや面談の他、第三者である介護サービス相談員との面談により意見を聴取、サービスに反映することで、一人ひとりの意志を尊重したサービスを提供します。 ◎介護 「利用者担当制」により個々の意見や希望を把握し、可能な限りご利用者が自己選択・自己決定できるようなサービスを提供します。 ◎看護 胃瘻や留置カテーテル、インシュリン注射及び人工肛門造設者や在宅酸素使用者の入所を受け入れる他、身体的・精神的苦痛、苦悩をできるだけ緩和し、ご利用者の尊厳に十分配慮した看取り介護を実施します。 ◎給食 ご利用者の意向と咀嚼・嚥下機能面から考慮した7種類の食事形態や個人の嗜好によって選択できる「選択食」、五感で楽しみ季節を感じる行事食提供により生活の質を高めます。 【利用者の意見を把握し、それらを反映するための仕組み】 ご利用者・ご家族の意見や思いは、アンケートや懇談会、苦情解決制度、介護サービス相談員派遣事業等を通して行い、改善を要する意見があった場合は、速やかに対応することで、満足度の向上を図ります。※R6年度家族アンケート結果：満足度 88.2%
2 管理運営計画の適格性	【効率性】に関する取組み	(1) 指定管理業務に係る費用 弊会のスケールメリットや価格交渉のノウハウを活用し、運営にかかる費用の抑制に努めます。介護テクノロジーの導入や介護助手の活用による生産性の向上により、職員採用の経費の抑制、ペーパーレス化とおむつなどの適正使用による処分費用を低減する工夫を行います。 提案額(千円) 令和8年 0千円 令和9年 0千円 令和10年 0千円 令和11年 0千円 令和12年 0千円	(1) 指定管理業務に係る費用 収入と支出のバランスを考え効率的に運用する他、外部識者の知見も取り入れ、サービスの質を維持しつつ、収支構造の抜本的な見直しにより中長期的な経営安定化を図っています。 【収入確保】安定した入所率の維持やLIFE拡充を前提とした体制強化、ICTを活用した業務効率化による職員の定着率向上により、収入の安定化を実現します。 【経費低減】法人本部による事務集約化や業務フローの見直し、職員配置最適化による経費削減の他、RPA(定型業務自動化ソフト)や議事録作成ソフト導入等のDX化推進によって作業効率の向上を図り、業務時間を削減します。これらにより、ご利用者と向き合う時間や業務本来の楽しさを感じられるゆとりを創出することで、利用者満足度の向上に繋がります。

審査項目		社会福祉法人 暁会	社会福祉法人 北九州市福祉事業団
	【効率性】に関する取組み		提案額(千円) 令和8年 0千円 令和9年 0千円 令和10年 0千円 令和11年 0千円 令和12年 0千円
2 管理運営計画の適格性	【適正性】に関する取組み	(1) 管理運営体制など 施設長を管理監督者とし、入所者処遇や職員指導の中心を担う介護責任者を配置。各専門職には有資格者を充て、適切な処遇を行います。3交代勤務の導入、介護テクノロジーの活用、ノーリフティングケアの実践により、職員の身体的・精神的負担の軽減に取り組むことで離職や虐待防止のほか、子育てや家族介護と仕事が両立しやすい職場とします。感染症対策や虐待防止など法令に基づく事業所内委員会の設置のほか、その上部組織にあたる弊社各委員会により、入所者処遇の適正化と法令順守の徹底に努めます。 (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など 北九州市特別養護老人ホーム入所の指針に基づき、入所決定過程の透明性及び公平性を図り、施設の入所希望者が円滑に入所できるよう努めます。 安全対策として、事故事例の検討や危険予知トレーニング、安全運転講習などの研修を行うことで事故発生予防や現場対応力を向上させます。また、定期的な虐待防止や不適切ケアのチェックを実施し、虐待の兆候や不適切な対応を早期に察知し虐待の芽を摘んでいきます。 BCP業務継続計画のもと、平時からの備えとして大規模災害や感染症の蔓延を想定した訓練	(1) 管理運営体制など 【施設の管理運営体制】 ◎管理体制 法人本部での人事・財務面の集中管理体制を取る他、管理・助言も行います。 ◎施設運営 専門性があり経験豊かな人員を適切に配置し、安心・安全な体制で運営します。 【職員の資質・能力向上を図る取り組み】 ◎人材マネジメント 新たに策定した「人材マネジメント方針」に基づき、ご利用者への直接処遇能力向上のために、キャリアパスを反映した研修やOJTの他、専門知識・能力・技術向上研修・訓練を施設内で年間36回行います。特に、認知症の方のその人らしい生活の営みを守るために、職員の認知症ケアについての知識、能力向上に取り組めます。 【やる気や満足度を高めるための取り組み】 ◎職員資格取得奨励制度 就業免除や奨励金により資格取得を全面的に支援し、意欲ややりがいにつながります。※R5～R6資格取得実績:介護福祉士4名合格、社会福祉士1名合格 (2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など 【尊厳の保持】あらゆる場面でご利用者の意向を尊重し「自分らしく生きる」という視点を大切に、主体性が発揮できるよう、利用者本位のサービスを提供します。 【日常の事故防止】転落・転倒防止や表皮剥離防止の方策を講じる他、ご利用者一人ひとりの咀嚼・嚥下状態に合った7種類の食事形態(ソフト食やミキサー食等)を提供し、誤嚥防止に努めます。 【事故発生防止対策】「ヒヤリハット」の内容、要介護度などをデータベース化し、事例の原因分析や結果の周知により事故の発生防止を徹底し

審査項目	社会福祉法人 暁会	社会福祉法人 北九州市福祉事業団
【適正性】に関する取組み	や備品の調達保管を行い、入所者の生命や健康を守ります。 また、個人情報管理規程により、取扱いに関する体制・基本ルールを職員に順守させます。 （３）社会貢献・地域貢献 現法人が長年わたり取り組まれている「地域サポート事業」や「かざし健康づくり事業」などの地域貢献事業は踏襲し、弊会のノウハウを活かした地域のニーズに応じた活動を提案。地域住民とともに運営していくことで、地域に貢献してまいります。また、「まちかど介護相談室」の運営は介護相談のみならず弊会の経験ある専門職や北九州市立門司病院の協力のもと、医療や福祉、権利擁護、健康や栄養の相談など更に機能を強化し、地域包括ケアシステム的一端を担ってまいります。 働きがいのある職場づくりを通して人材が活躍できる環境を整備することで、持続可能な福祉環境を築いてまいります。職員採用にあたっては北九州市在住者を優先し、意欲のある高齢者の採用など雇用創出による社会貢献を果たしてまいります。	ます。 （３）社会貢献・地域貢献 【社会貢献】近隣の高齢者雇用による社会参加の促進や、当法人が運営する「子ども・若者応援センター」との連携により困難を抱える若者の社会復帰の場を提供します。 【地域貢献】近隣の高齢者などを対象とした随時相談や、現在介護を必要としていない高齢者を対象とした、心身の活性化・介護予防(体力の維持・向上)に取り組んでいます。その他、やむを得ない理由により自宅介護が困難になったケースや虐待等緊急支援が必要な困難事例について、緊急ショートステイを積極的に受け入れます。